

よ読んでみよう 解いてみよう
さん太のワークシート

倉敷芸術科学大が、大学で行われる研究を「見える化」するプロジェクトを進めています。記事を読み質問に答えましょう。

てい かく ねん
**低学年も
 チャレンジ!**

Q1 写真で紹介している庭のテーマは「香り」です。みんなの周りに、香りがあるものはないかな。探して書いてみよう。

Q2 活動に参加した学生はどんな気持ちになったかな。かぎかっこの中をよく見て抜き出しましょう。

Q3 プロジェクトではこれから、ビオトープ作りも目指しています。どんな特徴があるビオトープですか。最後から2番目の段落を参考に答えましょう。

倉敷

倉敷芸科大

香りテーマ花の植栽、生態観察…

研究「見える化」着々



香りをテーマにした庭造りに取り組む生命科学部の学生ら。昨年10月

倉敷芸術科学大（倉敷市連島町西之浦）は、大学で行われる芸術や自然科学の研究を「見える化」するプロジェクトを進めている。これまでに「香り」をテーマにした花の植栽などを実施。特色あふれるキャンパスをつくるとともに、学生自ら活動に参画し、体験することで主体的な学びにつなげる。（信定佑紀）

生命科学部生が学ぶ「5号館」。建物前での機能性を研究する岡 聖明教授（61）＝農芸化学らが複数種のバラやかんきつ類を選び、昨年10月

庭は抗酸化作用など香りの機能性を研究する岡 聖明教授（61）＝農芸化学らが複数種のバラやかんきつ類を選び、昨年10月に出るようにも工夫。整備はゼミの学生が協力しており、研究を実験室の外に広げ、新たな発想を得る狙いがある。

参加した学生は「実験で植物を使うが、実際に作業をしたことで考えが深まりそう」と手応えを語る。

同大は生命科学、芸術など3学部と大学院で計約1400人が学ぶ。プロジェクトは、知性と感性、表現力を兼ね備えた人材育成を目指す大学の教育プログラムの一環で2022年度に始めた。

学部の特色を生かし、自然環境VXR（ク

学生自ら整備 特色あるキャンパスへ

ロスリアリティ）▽地域活性化」などさまざまなテーマを設定。花の庭のほか、虫が好むビオラやキャベツを植え、エチオウを呼び寄せ、自然な状態で生態を観察する「バタフライガーデン」整備と、高梁川流域にのみ生ずる野生種・シラガブドウとマスカットの交配を行ってきた。

今後は、高梁川の動物を集めたビオトープ整備や、画題として有名なカキツバタやスイレンを植え日本画と西洋画の世界観が感じられる空間づくりに取り組む計画。先行プロジェクトを含め実施場所へのパネル掲示を検討するなど、発信にも努める。

担当の白砂伸夫学長補佐（70）＝環境共生学Ⅱは「教員も学生も面白がってキャンパスをつくり上げたい。学部間の交流も促し、新しい価値を創造できた」と話している。

2023年6月8日付、都市圏面

過去の問題は
 こちらから▶▶

◇「さん太のワークシート」は自由
 にダウンロードして、学校や家
 庭での学習に活用してください。